

「第2次小野市環境基本計画」の策定に対するパブリックコメントの結果について

令和2年1月14日から2月12日まで、市民の皆様等から意見（パブリックコメント）を募集した結果、次のとおり提出がありました。

- ・ 提出者数 13 人 （無記名3人分を含まない）
- ・ 意見の総数 16 件

提出された意見の要旨と、その意見に対する市の考え方は下記のとおりお知らせします。

意見 NO	分類	意見の内容(要旨)	市の考え方
1	周知報告方法	全体を網羅した立派な計画です。しかしながら、量が多すぎて、果たしてこの基本計画案を市民に読んでもらうのは無理と思う。 最も重要な部分のみを1枚A4にまとめ子供でも小野市の最重点取り組みが理解出来るようにすると良いと思う。 そして子供が率先して、出来ることをすすめてゆけば大人も影響を受けると思う。	策定後、計画の概要版(A3 1枚)を作成し、市内全戸に配布することを予定しています。
2	周知報告方法	このような計画があることを市民に広く知らしめて身近で簡易なことから協力を求め半年ごとくらいに経過を数値等で報告し成果が分かるようにする。(ポイント制とか…) 行政と市民・企業が一体になって推(進)めるような体制が必要だと思えます。	前年度末における主要な数値指標の結果について、翌年度の市広報やホームページ等でお知らせしてまいります。
3	周知報告方法	計画案を読んで、生活にすぐ直結する項目について(車の保有台数、マイバッグの利用、浄土寺の文化財としての価値)関心が深まりました。個人としては、どう努力すればいいのか課題をじっくり読みます。 この基本計画案を初めて目にしました。もっと知名度をあげる広報を考えてもらえたらと思えます。	NO.1、NO.2 のとおり
4	周知報告方法	計画策定の背景「環境問題の解決のため～SDGsの達成にも貢献していきます。」とありますが、基本計画について市民の1割程度しか知らなくても良いのでしょうか？私も勉強不足の為、知らなかったです。 第4章で「市民に期待される取り組み」とありますが、期待～実行～達成されているのでしょうか？市民に啓発はされていると思いますが、私自身は聞こうとしていないのかもわかりませんが、聞いたことがないです。	NO.1、NO.2 のとおり

意見 NO	分類	意見の内容(要旨)	市の考え方
5	推進 体制	<p>当計画は多岐、広範囲に渡っており、実効性のある計画にする為には計画(案)で示されている「リーディングプロジェクト」を中心に特に一般市民がしやすい型(形)で、行政、市民団体、事業者による体制作りが重要かと思えます。</p>	<p>当計画については、市民団体、事業者等の関係者による推進が不可欠な取り組みを含むものでありますので、小野市環境審議会の場合において進捗管理を行ってまいります。いただいたご意見にありましたとおり、その進捗管理に一般市民の方が関わっていただきやすくするために、環境審議会の委員選考についても見直しを行います。</p>
6	提案	<p>【環境目標 3 資源循環】(市民の取り組み「生ごみ処理機等を利用し、ごみの減量化や堆肥化に取り組めます」について) 生ごみの堆肥化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭での生ごみを、コンポストを希望者に無料配布することで堆肥化してごみを減らすとともに、できた堆肥は畑作とかされる方に利用いただき資源の循環を考える。 ・市が配布のコンポスト1杯でスタンプが1コというように堆肥を集めるところに持参していき、スタンプが10コか20コ集まれば何かと交換のように「おのアクティブパス」のようなしくみを作っていく。現物の店頭回収等に取り組む事業者を募集、指定する。これはぜひやっていただきたい。広報、HP等で告知していただけるとうれしいです。 ・コンビニチェーンでもエリアによってペットボトルを回収してポイントカードにポイント還元する機械を設置しているところもあると聞きます。その取り組みに賛同してもらえるように市から声かけしていただけるとうれしいです。 	<p>市ではかつてコンポストの購入補助金を交付しておりましたが、交付申請数の減少、補助金交付期間中にも可燃ごみの排出量が130g増加するなど、ごみの減量効果が得られなかったことがあり、平成19年度をもって交付を中止した経過があります。つきましては、コンポストの希望世帯への支給につきましては、費用対効果の面からも疑問があり、現時点では考えられないのが実情であります。</p> <p>しかしながら、生ごみの適正処理(水切りをよくすること)は、ごみ収集の運搬効率、クリーンセンターでの燃焼効率を向上させ、処理費用の削減へとつながることから、コンポスト等を用いた生ごみの堆肥化等に関する情報提供や啓発活動を行い、生ごみの減量化を促進します。</p> <p>ごみの減量につながるポイント制度の創設、協力事業者の募集については、今後、減量化を実現する施策を進める際の参考とさせていただきます。</p>
7	提案	<p>【環境目標 3 資源循環】「ごみの資源化の推進」 雑紙の回収袋について</p> <p>主婦の目線で P64、P75 の項目において、ごみの資源化の推進に注目しました。</p> <p>日ごろ、新聞、雑誌の回収は廃品回収を利用していますが、例えば、お菓子の紙箱、ケーキの箱、ティッシュの箱などの少しかたい紙をどうリサイクルしていいのかわからず悩むときがあります。他の市では区別して回収しているところもあるようです。</p> <p>我が家は、食品トレイ、透明容器、アルミカン、ペットボトル、牛乳パックはスーパーへリサイクルへ持って行くので、雑紙の回収があれば、もっとごみが減少するように思います。ぜひ推進してほしいと思います。</p> <p>私たち大人、親世代が取り組むことによって次世代の子どもたちに伝えることを願っています。いつもご苦労さまです。よろしくお願いいたします。</p>	<p>紙製の包装容器については、家庭ごみの収集区分の一つである「古紙類」において、ビニールひもで束ねて月1回の収集日にごみステーションに出していただければ、回収いたしております。</p> <p>雑紙類が可燃ゴミではなくリサイクルに回る古紙類の収集に出されるようになれば、リサイクル率の向上につながりますので、今後、広報等での啓発を行うようにいたします。</p>

意見 NO	分類	意見の内容(要旨)	市の考え方
14	参考 意見	環境基本計画について、きめ細やかな提案を頂いておりますが私には大変むずかしく思う 意見が見つかりません。 ただ言える事は、環境保全活動 P37、38 にある様に地域、市民ひとり一人が環境に対する意識を持って、自分の出来る事を積極、果敢に進めて行くことが大切です。 これら活動の発信基地は、やはり市、行政だと思います。積極果敢なご指導よろしくお願いいいたします。	市民の皆様が行われている環境保全活動の情報の収集を進め、発信に努めてまいります。
15	参考 意見	各学校が行なっているエコ回収、もっと買取の金額をアップしてほしい。	学校単位で行われている集団資源回収で集められた新聞・雑誌、空き缶等の買取価格は市場価格に連動しますが、大きく買取単価が下落した場合は、市が収集された量に応じて価格の上乗せを行う「資源ごみ集団回収奨励金」の制度がございます。
16	参考 意見	第二次小野市環境基本計画(案)を読ませていただきました。 以下[①低炭素②自然共生③資源循環④安全・快適⑤地域力]5つの項目についての問題点、現状と課題、アンケートの結果、環境施策の展開についてとても勉強になりました。 住民の皆様と共に、小野市の環境をよりよく改善できる取り組みを進めていくために必要なことは何か。 知ること 無知こそ最大の問題である。知らなければ、その問題について考えることも出来ません。今ある問題点が何か、市民の皆様知らせる機会をより多く与えてくださることがとても大切です。 学ぶこと 老若男女を問わず市民の皆様全員に学ぶ機会を与えてくださることが大切です。勉強会・講座、分かりやすく読みやすい広報物等で勉強できる機会を与えてください。 考え・実行すること 自分の頭で考え、問題点を改善できるように、各々の活動への後押しになるような工夫が必用だと思います。簡単な目標値を与えること、ポイントを集める楽しみを与える、地域ごとに競いあうなど、何か魅力的な取り組みを取り入れられたら良いと思います。 小野市が好きであること 小野市民であることの誇りに思い、郷土愛をもった人が多く居住する町は、勢いがあり、住民パワーも強いと思います。 また、今は小野市を離れている方の心の中に郷土を愛する心がいつも根付き、いつか必ず帰ってきたい懐かしく温かい故郷であると思える小野市であることを願います。 小野市で生まれ育ち、就職し、市内の方と結婚した私が、小野市外で4年、そして海外で4年過ごす機会をもち、帰ってきた小野市は、やっぱり住みやすくて、その風土がとても好きだと思いました。 だからこそ、まちづくり活動に興味をもち、小野市がよりよくなるように願って微力ながらも何らかの活動を続けています。 みんなの心の故郷がいつもでも魅力的でありますように。 小野市の益々の発展を願っております。	環境施策の展開にあたり、いただきましたご意見を参考に、市民への情報提供、魅力的な環境活動となるような仕組みづくりを行ってまいります。